

少数台数のリコール届出の公表について (平成25年1月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成25年1月は11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月10日	外1891	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：DBA-207347 他 通称名：E250CGIクーペ 他	96	平成24年 6月 4日～ 平成24年 8月 1日
不具合の部位等	右側ウインドウバッグの縫製方法が不適切なため、衝突を検知して当該装置が作動した場合、当該部位の縫い目が開いてしまうことで内圧が低下して本来の仕様よりも早期に萎み、十分な機能を果さないおそれがある。			

2. 届出者：キャタピラージャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
1月11日	3078	車 名：キャタピラー 型 式：JDS-J6J 通称名：962H	2	平成24年11月14日～ 平成24年11月26日
不具合の部位等	ステアリング用油圧ポンプにおいて、作動油の吐出量を調整する斜板が、熱処理不良により表面硬度が低くなっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、斜板の表面が過剰に摩耗し、斜板にできた摩耗痕にピストン・シューが噛み込み、油圧ポンプの作動が停止して操舵ができなくなる。			

3. 届出者：フィアット グループ オートモービルズ ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月17日	外1897	車 名：フィアット 型 式：ABA-31209 他 通称名：500 他	90	平成24年 8月20日～ 平成24年 9月14日
不具合の部位等	ブレーキバキュームパイプにおいて、製造工程が不適切なため強度が不足しており、ブレーキバキュームパイプに亀裂が生じるものがある。そのため、ブレーキ倍力装置の負圧が不足し、ブレーキ踏力が増大し、制動距離が延びる恐れがある。			

4. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月17日	外1899	車 名：ランドローバー 型 式：CBA-LV2A 通称名：レンジローバーEvoque	18	平成24年 7月31日～ 平成24年 9月 6日
不具合の部位等	リアブレーキキャリパマウンティングブラケットの固定ボルトにおいて、締め付けトルクが不十分なものがある。そのため、走行中や制動時に車両後方から異音が発生し、異音を無視して走行を続けた場合に、当該ボルトが脱落しブレーキキャリパが外れて制動力が低下するほか、脱落したブレーキキャリパがホイールを損傷させ、タイヤの空気が急激に抜けて、走行不能に至るおそれがある。			

5. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月18日	外1892	車 名：プジョー 型 式：ABA-A75F04 通称名：207	2	平成23年 9月 1日
不具合の部位等	クラッチペダルとクラッチマスターシリンダープッシュロッドの接続部において、車両製造工程で確実に固定されていないものがあり、クラッチペダルを操作した際に接続が外れてしまい、変速が出来なくなるおそれがある。			

6. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月18日	外1893	車 名：プジョー 型 式：ABA-T75F02 他 通称名：308 他	12	平成23年 8月30日～ 平成23年 9月25日
不具合の部位等	ステアリングギヤボックスを固定するためのスタッドボルトの取付けナットに締め付けの不十分なものがあり、ステアリングを操作した際に異音が発生することがある。そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ステアリングギヤボックスの固定が外れてステアリング操作ができなくなるおそれがある。			

7. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1月18日	外1895	車 名：シトロエン 型 式：ABA-B58RFJP 他 通称名：C4ピカソ	32	平成19年 5月30日～ 平成21年 2月13日
不具合の部位等	ディーラーオプションとしてプジョー・シトロエン・ジャポン株式会社が販売したナビゲーションキット（該当する部品番号IT22B001）のワンセグTV/FM VICSアンテナを取付けている車両において、当該アンテナが運転者席側面のガラスに取付けられているため、道路運送車両の保安基準に適合しないものがある。			

8. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月24日	3081	車名：いすゞ 型式：PDG-LV234L2改 通称名：エルガ	70	平成19年11月26日～ 平成24年6月7日
不具合の部位等	<p>圧縮天然ガス（CNG）エンジン搭載の自動変速機仕様の路線バスにおいて、エンジン制御ユニットのアイドル回転制御プログラムが不適切なため、アイドル時の負荷が変動すると、アイドル回転が高くなったままとなることがある。そのため、自動変速機がニュートラルから変速しなくなり、最悪の場合、発進できなくなるおそれがある。</p>			

9. 届出者：横浜車輛工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月30日	3084	車名：いすゞ 型式：LKG-CYY77AY 他 通称名：ギガ	24	平成24年3月9日～ 平成25年1月7日
不具合の部位等	<p>コンテナ専用車の大型後部反射器において、当該反射器の取付位置が不適切なため、反射器内側上部の幾何学的視認性が、道路運送車両の保安基準に適合していない。</p>			

10. 届出者：ビー・エム・ダブリュ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
1月30日	外1902	車名：BMW 型式：-UC20- 通称名：BMW ActiveE	5	平成24年2月23日
不具合の部位等	<p>電気自動車において、電気モーターの駆動トルクを伝達するトランスミッションのインプットシャフトのシーリングが不適切なため、グリースが漏れるおそれがある。その場合、インプットシャフトの潤滑不足によりスプラインが摩耗し、電気モーターとトランスミッションの嵌合が悪くなり、最悪の場合は走行不能となる。</p>			

11. 届出者：株式会社トーヨートレーラー

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
1月31日	外1901	車名：FAW 他 型式：不明 通称名：セミトレーラ 他	17	平成18年12月1日～ 平成24年5月15日
不具合の部位等	<p>トレーラの制動装置において、ブレーキカムシャフトの熱処理が不適切なため、じん性（粘り強さ）が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキカムシャフトのスプライン部分に応力が集中し、ブレーキカムシャフトが破損するとともに、ブレーキが利かなくなるおそれがある。</p>			

【参考】

●平成25年1月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	11件 (- 4)	8件 (+ 1)	3件 (- 5)
輸入車	11件 (+ 6)	3件 (- 2)	8件 (+ 8)
計	22件 (+ 2)	11件 (- 1)	11件 (+ 3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成24年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	14(+ 8)	15(+ 9)	29(+17)	82,216(+80,881)	54,880(+51,123)	137,096(+132,004)
5	15(+ 3)	9(- 1)	24(+ 2)	333,359(-132,361)	16,287(+10,247)	349,646(-122,114)
6	15(- 8)	7(- 2)	22(-10)	268,021(-127,987)	1,050(+ 331)	269,071(-127,656)
7	45(+30)	7(+ 1)	52(+31)	405,975(+332,178)	133(- 3,797)	406,108(+328,381)
8	14(+ 5)	4(0)	18(+ 5)	37,966(+32,623)	1,378(- 293)	39,344(+32,330)
9	9(-23)	6(- 1)	15(-24)	21,939(-337,698)	1,158(-11,763)	23,097(-349,461)
10	21(+12)	5(- 5)	26(+ 7)	565,014(+275,687)	7,601(-20,639)	572,615(+255,048)
11	15(- 3)	6(0)	21(- 3)	1,729,912(+1,593,228)	5,445(-56,337)	1,735,357(+1,536,891)
12	11(- 5)	6(- 4)	17(- 9)	1,752,004(+1,658,084)	4,057(- 6,599)	1,756,061(+1,651,485)
1	11(- 4)	11(+ 6)	22(+ 2)	<u>33,492(-391,189)</u>	6,994(-28,995)	<u>40,486(-420,184)</u>
小計	170(+15)	76(+ 3)	246(+18)	<u>5,229,898(+2,983,446)</u>	98,983(-66,722)	<u>5,328,881(+2,916,724)</u>

※ () 内は、対前年比

注：平成25年1月31日付けで届出されたリコール届出番号「3086」及び「3087」については、リコール対象車の範囲に対象とならない車両も含まれており、対象車両数が特定されていないことから、下線部は最大値である。